

# 20年分の感謝を胸に 二十歳の抱負

「二十歳の心境」や「将来の夢」など、式典に参加された親子や友人の皆さんにインタビューしました。本当におめでとうございます。

青空に恵まれた1月7日、安中市文化センターで令和6年「安中市二十歳の集い」が開催されました。

令和4年まで「成人式」として行っていましたが、成人年齢が18歳に引き下げられたため、昨年「二十歳の集い」と名称を変え、実施しています。今年は520人が新たな一歩を踏み出しました。

一生に一度の「二十歳の集い」に参加した皆さんは、久しぶりに再会した友人と話し、家族と一緒に写真を撮るなど、かけがえのない時間を笑顔で過ごしていました。

## 「母から受け継いだ振袖と ともに」



思っていたよりも、あっという間の20年でした。お母さんの振袖を、この二十歳の集いで着ることができてとてもうれしいです。

今は、看護師になる夢を叶えるために勉強しています。しっかりした、常識のある大人になりたいです。

20年間、大切に育ててくれて本当にありがとうございます。

## 「一番に考えてくれた両親に 感謝」

社会人になっている友人が多いので、私も自立した一年を過ごしていきたいと思っています。いつ、どんな人に出会っても恥ずかしくないような大人になりたいです。まずは、無事に大学を卒業できるよう頑張ります。

数年くらい前までは体調を崩すことも多かったですが、両親が私のことを一番に考えてくれたおかげで無理することなく過ごすことができました。本当に、ここまで大きく育ててくれてとても感謝しています。

父より

「コロナ禍」という大変な時代の中で、できなかったこともたくさんあったと思いますが、社会に出て、いろいろなことを経験してほしいです。

二十歳は、長い人生の通過点のひとつに過ぎません。人に感謝できるような人間になってほしいです。



## 「変わらない 大切な仲間」

安中二中野球部OBの皆さん

久しぶりに仲間と会えて、懐かしく思います。昔から変わらない雰囲気ので話ができるので、とても大切な仲間です。

将来は、自立心を持った大人になりたい。公務員という職業にも憧れます。やり投げの全日本インカレに出場し、優勝したい。

一人暮らしをして、親のありがたみをすごく感じました。感謝の気持ちでいっぱいです。

顧問の先生より

当時から良い子ばかりだったが、久しぶりに会って、とても立派になっていてうれしく思います。二十歳を迎え、これからも、その時その時を楽しみながら過ごしてもらいたいです。